

- 第110号 -



# しろくまだより

- 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし -

編集/発行 2024.9.24 八代市環境課 TEL33-4114

## 《今回の記事》

- ・ごみの直接持ち込み料金が変わります
- ・10月は「3R推進月間」です
- ・生ごみ堆肥化容器等設置助成金について

これまでの「しろくまだより」は市ホームページでご覧いただけます



しろくまだより



サイト内検索に入力↑

QRコードを読み取り↑

## ごみの直接持ち込み料金が変わります

10月1日（火）からエコイトやつしろ、八代ソイルへの直接持ち込みの料金が変わります。

### エコイトやつしろへの持ち込み

#### ・一般廃棄物

改定前  
100円  
/10kg

→

改定後  
150円  
/10kg

#### ・スプリング入りマットレス

改定前  
一個あたり  
1,000円～

→

改定後  
一個あたり  
2,000円～



QRコードから市ホームページをご覧ください

### 八代ソイルへの持ち込み

#### ・樹木剪定くず

改定前  
50円  
/10kg

→

改定後  
100円  
/10kg

- ※10kg未満も10kgの料金です
- ※10kg毎に料金が加算されます

市指定ごみ袋の料金は今までと変わりません

エコイトやつしろへのエアコン、テレビ、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫、冷凍庫などの家電リサイクル法対象品の受入は、9月30日(月)で終了します。

お近くの郵便局で家電リサイクル券をお買い求めいただき、指定引取場所である久留米運送(株)八代店（☎33-1361）へ持ち込みをお願いします。

※家電リサイクル法対象品の確認や、料金につきましては、家電リサイクル券センターへお問い合わせください。

☎0120-319640(9:00-18:00 日・祝休)

## 改定の目的

- ・ごみ処理に係る費用と現行の手数料との価格差を解消し、受益者負担の適正化および近隣自治体との料金格差の均衡を図ります。
- ・ゼロカーボンシティを実現していくため、分別意識の向上を促すことで、ごみの焼却で発生する温室効果ガスを削減します。

【お問合せ先】八代市循環社会推進課（エコイトやつしろ）  
☎32-4675 又は ☎34-1997

## 10月は「3R推進月間」です

3R（スリーアール）とは、ごみを減らすことを意味する次の3つの取組のことです。

- ①リデュース（Reduce：ごみの発生抑制）・・・物を大切に使い、ごみを減らすこと  
・マイバッグを使う、詰め替えや簡易包装の商品を選ぶ、食品を無駄にしない など
- ②リユース（Reuse：再使用）・・・使える物はくり返し使うこと  
・フリーマーケットやリサイクルショップを利用する、修理して使う など
- ③リサイクル（Recycle：再生利用）・・・資源化して再び利用すること  
・資源の日を活用し、きちんと分別する など



3Rには優先順位があります。

まず、ごみになるものをできるだけ減らすように心がけること（①リデュース）、次に、使えるものはできるだけ繰り返し使うこと（②リユース）、最後に不要になったものは資源としてリサイクルすること（③リサイクル）が重要です。

ごみの減量化に対する一層のご理解・ご協力をお願いします。



【お問合せ先】循環社会推進課 TEL34-1997

## 生ごみ堆肥化容器等設置助成金について

生ごみ減量化のため、生ごみ堆肥化容器や電気式生ごみ処理機を購入される家庭に助成金を交付します。

### ○生ごみ堆肥化容器

助成金額：購入金額の2分の1（上限1基につき5,000円）

助成対象数：1世帯あたり1年間に3基まで

### ○電気式生ごみ処理機

助成金額：購入金額の2分の1（上限30,000円）

助成対象数：1世帯あたり、過去5年間に1機まで

- ・購入する前に循環社会推進課への登録申込（電話での申込可）が必要です。
- ・申請後、市の職員が設置確認を行います。

※申請書類は、市ホームページからダウンロードできます。

申請先：循環社会推進課（港町299 エコエイトやつしろ内）、各支所地域振興課



詳しい情報は  
QRコードから  
ご確認ください。

【お問合せ・登録申込先】循環社会推進課 TEL34-1997

## ごみ・資源の分別アプリ「さんあ〜る」のご紹介

「さんあ〜る」は、ごみの収集日や分別方法などを確認できるアプリです。収集日をお知らせする機能もあり、ごみの出し忘れに備えることもできます。右のQRコードからダウンロードできます。



## “広げよう！エコ8（エイト）行動”

### ＜環境行動8＞環境問題について学び、行動します。

- 環境の現状に関心を持ち、環境保全に対する理解を深めましょう。
- 一人ひとりが、できることから実際に行動しましょう。